

泌尿器科

《概要》

[スタッフ]

萩野恵三	(平成元年卒)	部長	(日本泌尿器科学会指導医・専門医)
西川 徹	(平成6年卒)	医長	(日本泌尿器科学会指導医・専門医)
森山泰成	(平成11年卒)	副医長	(日本泌尿器科学会専門医)

2009年はスタッフの交代があった。児玉芳季先生が3月末に和歌山県立医大に異動され、後任として4月より森山泰成先生が赴任された。森山泰成先生は2005年以来5年ぶりに当施設への復帰となった。2009年の入院患者総数はのべ393名(男305名、女88名)で過去最高数を更新した。これは2008年の365名に比し総数で28名、8%の増加であり2年連続で入院患者数は増加傾向にある。

入院患者の内訳ならびに入院治療の詳細は別表のごとくでほぼ例年通りであった。

手術に関しては体外衝撃波結石破砕術(SWL)を除いて年間239件であり、2008年の258件に比べて件数で19件、前年比8%の減少がみられた。この理由としては膀胱癌に対する内視鏡手術(TUR-Bt)が2008年の104件から2009年はほぼ例年並みの71件に減少したことが影響しているものと思われる。根治的前立腺全摘除術は41件と2008年の24例から大幅に増加し過去最高数であった。また尿路結石症に対する体外衝撃波結石破砕術(SWL)は外来入院の合計で新患75例に対して166回施行した。これは2008年に新患84例に対して300回施行したのと比較すると新患数で9例減少したものの手術施行回数は実に134回、前年比45%の大幅な減少であった。体外衝撃波結石破砕術(SWL)の治療回数減少は尿路結石治療効率化の観点から患者側と当施設側双方にとって非常に有益であった。またホルニウムヤグレーザーを用いた尿路結石症に対する内視鏡手術(TUL:経尿道的尿管結石碎石術&PNL:経皮的腎結石碎石術)はTULを8件、PNLを2件施行した。これらの手術は後述する新しい内視鏡の導入により今後件数の増加が期待でき尿路結石症の治療期間を短縮する可能性を有する。

2009年は2008年から要望していた大規模な医療機器の更新が実現した。新たに超音波診断装置1台、前立腺生検用デバイス2個、軟性膀胱尿道ファイバースコープ3セットと専用洗浄機1台、生理食塩水を灌流液として使用できる内視鏡手術システムTURis2セットと従来型のTUR2セットの合計4セット、細径硬性腎盂尿管鏡2セットと細径軟性腎盂尿管ファイバースコープ1セット、ソノサージシザーズ(超音波メス)1セットである。これらの医療機器の導入により近年全国的に急速に普及しつつあるTURis手術やホルニウムヤグレーザーを用いた腎結石に対するf-TUL手術が当施設でも可能となった。また男性患者の膀胱鏡検査は全例軟性膀胱尿道ファイバーで施行可能となり検査時の疼痛軽減に大きく貢献している。増加しつつける経直腸エコーガイド下前立腺生検症例に対応し、膀胱全摘除術や前立腺全摘除術に代表される骨盤外科手術での術中出血リスクを軽減させる。例年泌尿器科手術の中で年間実施件数が最も多い膀胱癌に対する内視鏡手術(TUR-Bt 2008年:104件 2009年:71件)もしくは前立腺肥大症に対する内視鏡手術(TUR-P 2008年:33件 2009年:33件)を最大で1日7件施行可能となった。今後も当施設が泉州地域における基幹施設としての役割を十分に果たせるようにより多くの泌尿器科手術を安全かつ確実に施行していきたい。

《実績》

<2009 年入院統計>

	男	女	計		男	女	計
副腎疾患				前立腺疾患			
原発性アルドステロン症	0	1	1	前立腺肥大症	33		33
計	0	1	1	前立腺肥大症・膀胱結石	1		1
腎疾患				尿道疾患			
腎癌	10	9	19	尿道小阜	0	1	1
腎盂癌	3	4	7	尿道狭窄	2	0	2
腎膿瘍	0	1	1	尿道癌	1	0	1
水腎症	1	2	3	計	3	1	4
腎嚢胞	2	1	3	陰茎疾患			
腎結石	3	3	6	陰茎癌	2		2
急性腎盂腎炎	3	7	10	陰茎異物	1		1
腎悪性リンパ腫	1	0	1	計	3		3
特発性腎出血	1	0	1	陰嚢内容疾患			
計	24	27	51	停留精巣	9		9
尿管疾患				その他			
尿管癌	5	2	7	腸炎	1	0	1
尿管結石	7	2	9	転移性脳腫瘍	0	1	1
計	12	4	16	後腹膜腫瘍再発	1	1	2
膀胱疾患				泌尿器科			
膀胱結石	8	3	11	脱水性	1	0	1
放射線性膀胱炎	0	1	1	術後創感染	1	0	1
膀胱癌	77	16	93	消化管出血	1	0	1
膀胱癌疑い	2	0	2	会陰部腫瘍	1	0	1
陰部膀胱瘤	0	2	2	計	6	2	8
膀胱タンポナーデ	2	2	4	総計			
尿膜管癌	1	0	1		255	59	314
尿膜管膿瘍	1	0	1				
計	91	24	115				

<2009 年外来手術>

	男	女	計
男性不妊手術	1	0	1
ESWL	95(48)	66(22)	161(70)
包皮環状切除術	1		1
尖圭コンジローマ焼灼術	3	0	3
*ESWL () 内は初回症例			
総計	100	66	166

<2009 年入院治療統計>

	男	女	計
副腎			
腹腔鏡下副腎摘除術	0	1	1
計	0	1	1

	男	女	計
腎・尿管			
根治的腎摘除術(経腹的)	0	1	1
根治的腎摘除術(経腰的)	2	1	3
腹腔鏡下腎摘除術	3	0	3
腎尿管全摘膀胱部分切除術	4	3	7
腎尿管膀胱全摘・尿管皮膚瘻造設	0	1	1
単純腎摘除術	0	1	1
腎部分切除術(マイクロセ)	0	2	2
尿管部分切除術	1	0	1
TUL	6	2	8
PNL	1	1	2
PNS	1	2	3
過酸加水素水注入	1	0	1
腎生検	1	0	1
腎嚢胞穿刺	2	1	3
膀胱尿管新吻合	0	1	1
計	22	16	38

	男	女	計
膀胱			
膀胱全摘・回腸導管造設術	2	0	2
膀胱部分切除術	4	2	6
TUEC	2	0	2
TUR-Bt	57	14	71
膀胱多部位生検	2	0	2
膀胱碎石術	7	5	12
計	74	21	95

	男	女	計
前立腺			
根治的恥骨後式前立腺全摘除術	41		41
恥骨後式前立腺被膜下摘除術	2		2
TUR-P	33		33
前立腺生検	4		4
計	80		80

	男	女	計
尿道			
尿道小阜摘除術	0	1	1
内尿道切開術	1	0	1
計	1	1	2

	男	女	計
陰茎			
陰茎部分切除術	1		1
陰茎異物摘除術	1		1
計	2		2

	男	女	計
陰嚢内容			
精巣固定術	9		9
高位精巣摘除術	4		4
精巣摘除術	1		1
精索捻転手術	1		1
陰嚢水腫摘除術	2		2
精液瘤摘除術	2		2
精索静脈瘤手術	1		1
計	20		20

	男	女	計
その他			
ESWL	2(2)	3(3)	5(5)
TVM	0	1	1
前膣壁形成術	0	1	1
免疫療法(インターフェロン)	1	1	2
放射線療法	4	2	6
動注化学療法	4	0	4
抗がん化学療法	31	30	61
Embolization(精索静脈瘤)	1	0	1
TAE(腎癌)	1	0	1
保存的加療	29	12	41
膀胱鏡検査	1	0	1
腹水穿刺	1	0	1
回腸導管尿路再建	1	0	1
計	76	50	126

*ESWL () 内は初回症例

総計	275	89	364
-----------	-----	----	-----

《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2009.4~2010.3)

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Synergistic antitumor effects of Fleroxacin with 5-fluorouracil in vitro and in vivo for bladder cancer cell lines.	Toru Nishikawa, Yasuo Kohjimoto, Masaya Nishihata, Shoichi Ebisuno and Isao Hara	Urology	74	1370-1376	2009

(2) 学会研究会報告 (2009.4~2010.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	当科における secondlook TUR-Bt の治療成績	○萩野恵三 西川 徹 森山泰成	第 28 回泌尿器科紀の国フォーラム	2009. 9. 12 和歌山市
2	陰茎異物の 1 例	○森山泰成 西川 徹 萩野恵三	第 28 回泌尿器科紀の国フォーラム	2009. 9. 12 和歌山市

(3) 学術講演 (2009.4~2010.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	『STI(性感染症)について』	萩野恵三	第 41 回泉南薬剤師会学術講演会 大阪府阪南市	2009. 7. 24

(4) 院内研究活動 (2009.4~2010.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	第 116 回臨床集談会 『STI(性感染症)について』	萩野恵三	2009. 7. 23
2	りんくう放射線臨床勉強会『泌尿器科疾患の画像診断』	萩野恵三	2009. 8. 28